



3人目の プロ野球選手誕生

10月26日、2020年プロ野球ドラフト会議が行われ、四国学院大学4年生の水上由伸さんが埼玉西武ライオンズ育成5位指名を受けました。四国学院大学出身のプロ野球選手は、2015年高野圭佑選手以来5年ぶり、大学在籍中の指名は2001年天野浩一選手以来19年ぶり3人目の快挙達成です。出身は長野県ですが、野球の環境を求め、四国学院大学を選んだ水上さん。指名直後にインタビューしてみました。(HPでもインタビュー続編を公開中!)

大会が中止になったりしましたが、そんなに気にしていませんでした。試合がなくなっても、その分トレーニングができるので。もしプロの世界に行けなくても、社会人で野球を続けていく予定だったので、落ち込むことはありませんでした。

—— プロの指名に関わる大事な年がコロナ禍。どんな心境でしたか？

育成指名なので、なるべく1年目で支配下選手になることが目標です。高校時代の先輩が同じリーグにいたので、絶対一軍で対戦したいです。

—— プロでの目標や対戦したい相手はいますか？

素直にうれしかったです。とにかくプロの世界に入りたかったので。

—— ドラフト会議で自分の名前が呼ばれた瞬間の気持ちは？

憧れていた夢の舞台

—— プロでも通用する武器やアピールポイントは？

最速150^{キロ}のストレートです。インコースのコントロールには自信があるので、強気にひるまずにどんどん攻めていきたいです。

—— なぜ四国学院大学で野球をする道を選んだ？

高校生の時のドラフトが終わった直後に、当時、高校の外部コーチで指導を受けていた(故)橋野前監督から声をかけていただいたことがきっかけです。それまでは四国に来たことも四国学院大学の名前も知りませんでした。また、専攻している『ベースボール科学メジャー』があることもこの大学を選んだ理由の一つです。野球の歴史やトレーニング方法を勉強でき、授業でも野球に集中できるので、プロに行くには最高の環境でした。野球部員のほとんどがこの学部を専攻しています。

—— 市民の方やプロを目指して頑張っている子どもたちにメッセージをお願いします。

4年間住まわせていただいて、本当にいまちだと思いました。普通寺市に関係する久しぶりのプロ野球選手なので、まずはしっかり活躍して、普通寺市の方に知ってもらえればうれしいです。早く活躍して大学の名前や普通寺市を全国の人に知ってもらえるように頑張ります。今、少年野球をしている子どもたちもずっと野球が好きでいれば夢は叶うので、野球を嫌いにならないで、ずっと好きでいてもらいたいです。好きで楽しくしていれば、苦しいことも苦しく感じないと思います。



野球が好きだった
絶対に諦めなかった
だから、
夢が叶った

四国学院大学 社会学部ベースボール科学メジャー 4年生
硬式野球部 主将

水上 由伸

みず かみ よし のぶ